イベント・その他講座のご案内

イベント予定

決まり次第ご案内いたします

特別講座の予定

決まり次第ご案内いたします。

あとがき

▶歩道がきれいに除草されました。あまりにもきれいになってしまいましたので、教室の敷地や駐車場の草が目立つようになってしまいましたね。これでも早朝に除草を行っているのですが、シルバーさんのように根っこからきれいには除草しませんからどうしても目立つようです。なんとか伸びすぎないようにだけ心がけ作業をしていこうと思っています。▶まもなくアジサイも花を咲かせます。今年も例年のようにアナベルはたくさんのつぼみを付けました。明るく教室を彩ってくれることと思います。▶除草といえば畑もこの時期は草とりに追われる季節なのですが数年前から自然農法を実践しあまり気を使わなくなりました。ですから今は野菜の成長を阻害するほど成長した草以外はほとんど刈り取りません。地肌が見えない畑ですがそれでも結構収穫が楽しめます。

営業時間（ご予約・ご変更は 0120-973-154 まで、お早めにご連絡下さい。）

水・金：　AM8：50～PM　8：00
月・木・土：　AM8：50～PM　5：00
日：　AM8：50～AM12：10（休み：火・祝日）

URL：http://dekirupc.com/　e-mail：takasaki@dekirupc.com
住所：〒985-0862　多賀城市高崎２丁目２８番１号

教室開業１６周年！感謝をこめて会報をお届けします。

ほのぼの通信　7月号（132 号）

平成29年６月17日 発行

ありがとうございます！

　お陰様で教室は今年で16周年を迎えました。皆様のご愛顧にささえられここまで来ることができました。心から感謝申し上げます。創業当時はここまで継続できるなんて想像すらしていませんでした。

　この16年、振り返るととにかく失敗の連続で満足できたと思ったことは何一つなく、もうだめかもしれないと思うような出来事ばかりでした。いつ倒産しても不思議ではなかったと思います。

　どうしようもなくなったらやめようと考えていたとしたらもう教室はなかったと思います。しかし、倒産した多くの企業も望んだ道ではなかったはずですから、私も同じです。だから自分の能力や努力だとか根性なんてものが間違っても今を支えているのではなく、ただ運がよかったとしか思えません。同時に支えてくださったお客様との巡りあわせと家族への感謝に堪えません。

　恥ずかしい話ですが明日の子供の給食費をどうしようかと思い悩んだこともありました。今はようやくそんなこともなくなり、もしできることならあの日の私に「そんなに心配しなくても大丈夫だよ、今できることを精一杯やればそれでいいんだよ。」って伝えたいです。

だいじょうぶですよ！

教室の募集方法はチラシのポスティングが基本ですが、ここ最近はほとんどそのポスティングを行っておりません。行っていない理由は様々なのですが教室を退会される方がほとんどいらっしゃらなくなったのが一番大きな理由です。

数年前まではチラシによる募集を年に 4 回ほど実施して、40 名ほどの新規のお客様にご入会いただいていたのですが、ほぼそれと同数のお客様が退会される状態でした。教室経営を安定させるためにもう少し在籍数を増やしたいと思いながら努力してきたのですがどうしても実現できずにいました。

在籍数を増やすためには募集をするしかないと思い込んでいたのです。ところがそればかりを続けた結果、次第にその成果が落ちてきたのです。でも資金的には募集をこれ以上増やすことはできない。となれば在籍数が年々減少することは明らかです。ここまで追い込まれてようやく新規募集から在籍のお客様へのサービス向上へと重心を大きく移さざるを得なくなったのです。

ところがサービスをこれまでも怠っていたつもりはなかったのですから、とたんに何をしていいのかわからなくなってしまいました。以前であれば新しい教材を探し、新講座を開設したり、新しい検定試験を実施したりして、メニューを増やすことで対応してきたことなのですがそれもまた限界が来ていました。

ワンポイント講座

パソコンの黎明期にはパッケージソフトはありませんでしたからパソコンを使うということはすなわち自らプログラミングすることでした。そのプログラミング言語としてよく用いられたのがＢＡＳＩＣ言語でした。他にも沢山の言語がありますがどの言語も英数字と記号のランダムな羅列にしか見えないとてもとっつきづらいものばかりでした。でも何も知らないと一見そう見えるのですが、実はとてもシンプルで単純な言葉がただ繰り返されているだけなのです。

パソコンが普及する前はマイコンなんてものがあって、比較的安く手に入ったものですから、子供が趣味でプログラミングを楽しむマイコン少年がたくさんいました。マイコンにはディスプレイや記憶装置がなく、見た目はキーボードだけのわけのわからないものでしたが、それをテレビにつなげてディスプレイにして、ラジカセにつなげて記憶装置にし、現在のテレビゲーム機のようにして遊んでいたのです。

何をして遊んでいたのかというとインターネットはもちろんありません。市販のゲームソフトもまだありませんでしたから、ＢＡＳＩＣ言語でゲームソフトを作って遊んでいたのです。子供たちはＢＡＳＩＣ言語をどこかで習ったわけではなく見様見真似で覚えていったのです。

当時からパソコン雑誌は発売されていましたから、そんな読者向けに沢山のゲームプログラムが紹介されていたのです。はじめはとにかくそれを自分のマイコンに手で一字一句間違わないように入力していったのです。